



本県の薬剤師確保の現状と取組み

-
1. 本県の薬剤師確保の現状
 2. 現在の取組み
 3. 今後の課題
-

令和5年11月1日

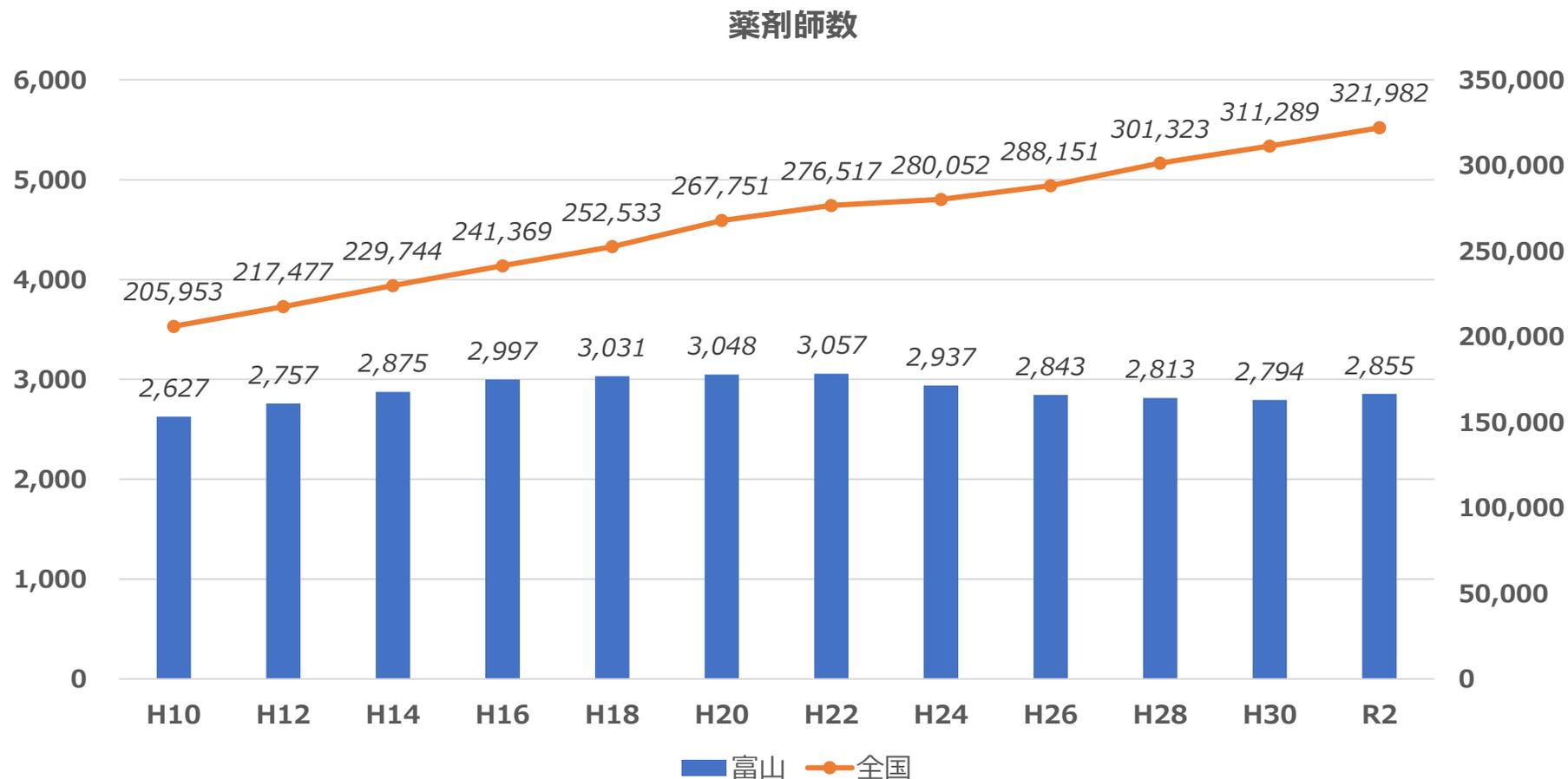
令和5年度第4回富山県薬剤師確保対策推進協議会



1. 本県の薬剤師確保の現状

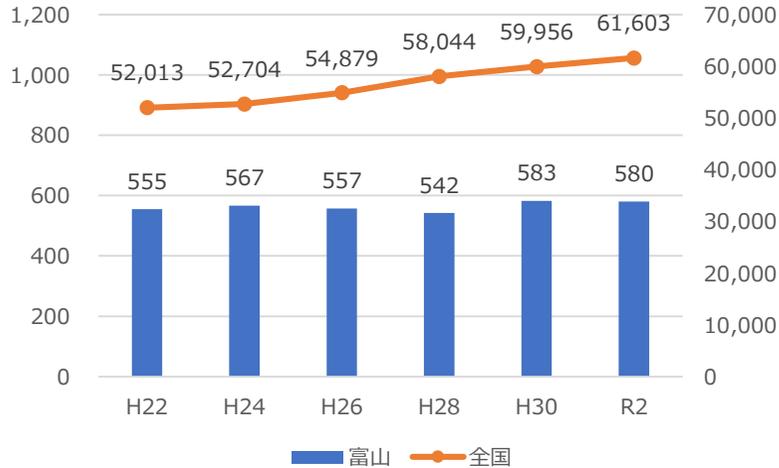
富山県の薬剤師数の推移

- 過去22年間で、薬剤師は一貫して増加傾向を示しているが、富山県においては横ばいから減少傾向（ピーク時の平成22年と比較し、令和2年で▲6.6%）。新卒薬剤師の就業地の地域偏在が示唆される。
- 医薬分業の進展、対人業務の充実、チーム医療への参画など、薬剤師の業務増加に対応する人材が、富山県では確保できていない可能性がある。

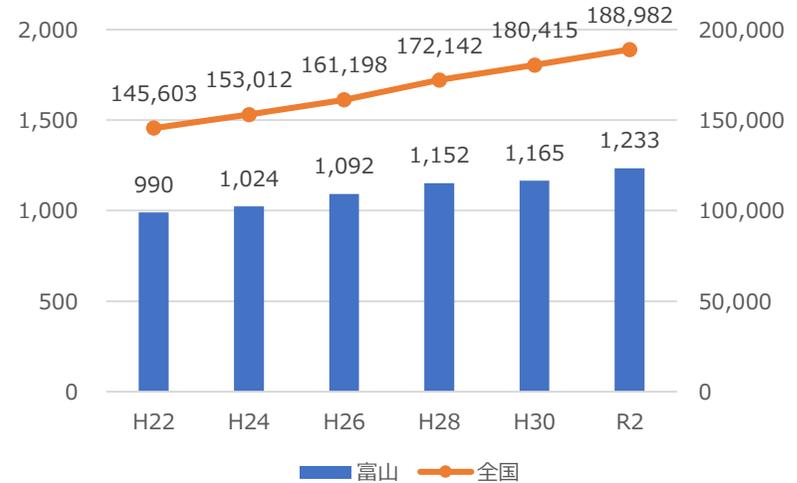


富山県の薬剤師数の推移（業種別）

医療施設（病院・診療所等）の従事者



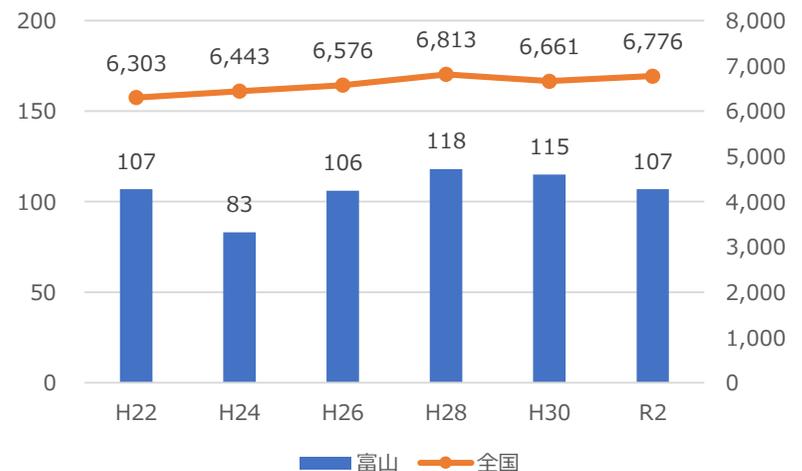
薬局の従事者



製薬企業の従事者



衛生行政・保健行政機関の従事者



1 薬剤師確保の現状

2 現在の取組み

3 今後の課題

「人口10万人対薬剤師数」及び「薬剤師偏在指標」

- 従来より指標として活用されていた「人口10万人対薬剤師数」のほか、先般、厚生労働省より示された「薬剤師偏在指標」などがある。単一の指標で薬剤師の充足状況を判断するのは困難であり、複数の指標を継続的にフォローしていく必要がある。

【人口10万人対薬剤師数（R2年末現在）】

	総数		薬局		病院・診療所		医薬品製造業	
		順位		順位		順位		順位
富山県	275.9人	5位	119.2人	45位	56.0人	12位	52.0人	4位
参考：全国	255.2人		149.8人		48.8人		21.7人	

(厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」及び「医師・歯科医師・薬剤師統計」)

【薬剤師偏在指標】

	病院		薬局		地域別 (病院+薬局)	
		順位		順位		順位
富山県	0.75	26位	0.82	46位	0.80	45位
全国	0.80		1.08		0.99	

(厚生労働省事務連絡「薬剤師偏在指標等について」)

＜薬剤師偏在指標の考え方＞

- 都道府県などの個々の地域における、薬剤師の必要業務時間（需要）に対する実際の労働時間（供給）の比率。
- 国の「薬剤師確計画ガイドライン」では、2036年度までに需要と供給が等しくなる「1.0」を目標とすることとしている。
- 目標偏在指標「1.0」を満たさないもののうち、下位2分の1が「薬剤師少数都道府県」とされ、本県は病院・薬局ともに「少数都道府県」に該当する。（「0.85」以下の都道府県）

富山県内での薬剤師の募集に対する採用充足率

- 県のアンケート調査では、県内の公的病院、製薬企業、県職員のいずれにおいても、また、いずれの年度でも、募集人数に対して4～5割程度しか薬剤師を採用できていない。

(1) 公的病院 (23病院)

※くすり政策課調べ

公的病院へのアンケート結果をもとに、薬剤師の採用数について集計（非常勤職員は常勤換算して計上）
なお、県立中央病院は、県職員としての採用であるため含まれない。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
採用人数/募集人数	19.7/37 (53%)	15.3/35 (44%)	16.6/37 (45%)

(2) 製薬企業

製薬企業へのアンケート結果をもとに、薬剤師資格を持つ新卒の採用数について集計

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
回答企業数	70	70	74
採用人数/募集人数	7/19 (37%)	8/19 (42%)	12/33 (36%)

(3) 県職員 (県庁・厚生センター・県立中央病院など)

県の薬剤師職の採用数について集計（通年採用を実施しており、募集人数は年度当初）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
採用人数/募集人数	7/13 (54%)	4/8 (50%)	4/8 (50%)

富山県内出身者の6年制薬学部¹の在籍人数

- 薬学教育協議会の調査によれば、**令和5年5月時点**で6年制薬学部¹に在籍している富山県出身者は345名。都道府県人口千人当たり0.3392で、全都道府県で下から②番目

【上位5都道府県】

順位	都道府県	在籍者数	人口千人当たり
1	奈良	972	0.7443
2	兵庫	3408	0.6309
3	和歌山	559	0.6190
4	徳島	435	0.6179
5	山梨	492	0.6135

【下位5都道府県】

順位	都道府県	在籍者数	人口千人当たり
43	島根	258	0.3921
44	山形	390	0.3746
45	秋田	325	0.3495
46	富山	345	0.3392
47	岩手	399	0.3378

一般社団法人薬学教育協議会「令和5年度在籍者数調査結果」より作成
人口千人当たりは、総務省統計局「人口推計（令和4年10月1日現在）」を用いて算出した。

2. 現在の取組み

令和5年度新規事業

令和4年度からの継続事業

○ 「くすりの富山」薬剤師確保対策事業 (R5:12,000千円)

◆ 「富山県薬剤師確保対策推進協議会」の開催

県薬剤師会、県病院薬剤師会、県薬業連合会、富山大学、有識者で構成される協議会を設置し、県の薬剤師確保対策について検討を行う。

◆ 公的病院の薬剤師確保対策の推進

① 短期インターンシップの開催

全国の薬学生を対象に、県内の公的病院で短期インターンシップ（職場体験）を開催する。県外の薬学生に対しては、富山県までの往復旅費の補助を予定

② 薬剤師キャリアポータルサイトの制作

富山県で働くことに興味がある薬学生・薬剤師向けに、公的病院等における薬剤師キャリアの紹介や、採用関連情報への誘導を行うポータルサイトを制作

③ 薬剤師キャリアPRパンフレット、動画制作

病院薬剤師のキャリアイメージをPRする動画やパンフレットを制作
内容は、R4年度「病院薬剤師PR試行・評価事業」の成果を反映

◆ 県庁・県立中央病院の薬剤師職員の確保対策

リクルートサイトの活用や、就活イベントでのPR活動など
(令和6年春採用より、「病院採用枠」の新設・早期募集を実施)

○ 薬剤師育成確保対策事業 (R4・R5:2,000千円)

薬剤師を志す学生を増やすため、中高生・保護者を対象に以下の企画を実施

◆ 薬剤師のお仕事体験学習

夏休みに、公的病院、調剤薬局、薬総研で薬剤師業務の体験学習を行う。

参加者数 (令和4年度)	調剤薬局コース (中学生)	公的病院コース (高校生)	薬総研コース (中・高校生)
	52名	40名	48名

◆ 未来の薬剤師発掘セミナー

春休みに、大学における薬学教育の説明や、病院・薬局・製薬企業等の薬剤師の仕事紹介などのセミナーを開催（令和4年度参加者：実地54名、オンライン33）

○ 富山県製薬企業セミナー開催 (R4・R5：1,000千円)

※ 地方大学・地方産業創生くすりコンソーシアム推進事業費の内数

県内の医薬品産業と製薬企業を知ることができる業界研究セミナーの開催（令和4年度参加者数…県外大学生向けのオンライン開催：68名、県内大学生向けの対面開催：40名）、県内製薬企業PRパンフレットの作製

薬剤師確保対策の取組みの展開

- 中高生～大学生～社会人の各段階に対する切れ目のないアプローチにより、県内で活躍する薬剤師を確保するための施策を総合的に実施
- 関係団体による「富山県薬剤師確保対策推進協議会」における議論を通じて、取組み内容の充実を図る。



現在の取組み①（薬剤師のお仕事体験学習）

- 中学生及び高校生が、薬剤師をはじめとする医薬品に関わる仕事に対する理解を深め、進路選択の参考とすることを目的に、「薬剤師のお仕事体験学習」を開催（H24～）

(1) 調剤薬局体験コース(中学生対象、県内 40 調剤薬局で実施)

- ・薬剤師の役割、調剤薬局での業務に関する説明
- ・模擬調剤(錠剤、散剤、軟膏、シロップ剤の調整等)

(2) 病院内薬局体験コース(高校生対象、県内 8 公的病院で実施)

- ・病院薬剤師の業務に関する説明
- ・模擬調剤、薬剤鑑別、病棟見学等(内容は病院ごとに異なります)

(3) 製薬体験コース(中学生及び高校生対象、富山県薬事総合研究開発センターで実施)

- ① 製剤実習：顆粒剤及び錠剤を作製し、評価の試験を実施
- ② 分析実習：くすりの成分の分析

中学生・高校生らに向けて、チラシ等を配布しPR

【参加者数】

<高校生>

<中学生>

	公的病院	薬総研
H30	47名	15名
R1	55名	6名
R4	40名	24名
R5	39名	23名

調剤薬局	薬総研
55名	40名
64名	40名
52名	24名
52名	25名



薬剤師って
どんなお仕事?

くすりの専門家 薬剤師
皆さんも病院や診療所を受診し、薬局で調剤してもらったり、体調がすぐれない時に地域の薬局・薬店がかぜ薬などを購入したりしたことがきっとあると思います。こうした医薬品が、私たちの手に届くまでのいろいろな過程で、薬学を基礎とした専門的な立場から関与しているのが薬剤師です。

薬剤師になるには

※コロナの影響によりR2,3年度は中止、R4年度は一部規模縮小

薬剤師のお仕事体験学習（R⑤実施状況）

調剤薬局体験（中学生）

日程：7月26、27日
場所：県内40の調剤薬局
参加者：中学生52名

【体験概要】

- ◆ 薬局の薬剤師業務の紹介
- ◆ 模擬処方箋を用いた調剤業務実践
 - ① 処方箋監査（疑義照会の説明）
 - ② 錠剤（菓子）の一包化
 - ③ 軟膏の混合
 - ④ シロップ剤の調整
 - ⑤ 調剤監査⇒ 模擬服薬指導の体験



病院内薬局体験（高校生）

日程：7月25～8月9日
場所：県内8の公的病院内薬局
参加者：高校生39名

【体験例】

- ◆ 病棟での薬剤師業務の見学
 - ◆ 注射調剤等の見学・体験
 - ◆ 抗がん剤調製の見学 等
- ※各病院により体験内容は異なる。



製薬体験（中学・高校生）

日程：8月2、3日
場所：県薬事総合研究開発センター
参加者：中学生25名、高校生23名

【体験概要】

- ◆ 錠・顆粒剤の製剤、評価試験を体験
- ◆ くすりの成分分析を体験



<打錠（錠剤の作製）体験>

参加者の声

Q 薬剤師職への興味・関心は高まったか？

⇒ 高まった（中学生76/77名、高校生59/60名）

✓ 患者さんのことを第一に、ミスがないよう何度も確認していて、より命を扱うお仕事としての責任感を感じた。（高校3年生・病院内薬局）

✓ 薬は慎重に扱わなければならないという事を改めて実感しました。（中学1年生・調剤薬局）

現在の取組み②（未来の薬剤師発掘セミナー）

- 中学生、高校生及びその保護者を対象にセミナーを開催し、「くすりの富山」の未来を支える薬剤師の重要な役割を、大学における薬学教育や、病院・薬局・製薬企業等での仕事を中心に紹介（H27～）

未来の薬剤師 発掘セミナー

薬の専門家である薬剤師の仕事への興味と理解を深め、将来、医療の担い手として、また「くすりの富山」を支える重要な役割を果たす薬剤師という職業を進路の選択肢として考えてみませんか！

薬学部に興味を持つ中学生、高校生およびその保護者の皆様のご参加をお待ちしています。



日時 令和5年
3月11日(土)
14:30～17:00 (開場 14:00)

場所 富山県民会館 304号室
富山県富山市新総曲輪4番18号
電話 076-432-3111



プログラム

- 薬学部への進学
株式会社 駿台教育研究所 コンテンツ企画部
部長代理 蓮見 連也 氏
- 富山大学における薬学教育
国立大学法人富山大学 薬学部長 酒井 秀紀 氏
- 地域医療への貢献
病院薬剤師の立場から
富山県病院薬剤師会 副会長 麻生 美佐子 氏
(高岡市民病院 薬剤科長)
薬局薬剤師の立場から
公益社団法人富山県薬剤師会
富山県青年薬剤師会 会長 炭岡 孝志 氏
(すみれ薬局魚津店 管理薬剤師)
- 富山県の医薬品産業
一般社団法人富山県薬業連合会 千田 祐資 氏
(ダイト株式会社 信頼性保証本部 品質保証部係長)

主な内容

- ◆ 薬学部への進学・入試について
- ◆ 富山大学における薬学教育【富山大学薬学部】
- ◆ 地域医療への貢献
 - ・ 病院薬剤師の立場から【富山県病院薬剤師会】
 - ・ 薬局薬剤師の立場から【富山県薬剤師会】
- ◆ 富山県の医薬品産業【富山県薬業連合会】

	参加者数
H29	50名
H30	80名
R1	資料配布
R2	資料配布
R3	85名
R4	現地参加 54名、オンライン接続 33

※コロナの影響によりR1, 2年度は実施方法を変更

未来の薬剤師発掘セミナー（R④実施状況）

開催概要

日程：令和5年3月11日（土）14：30～17：00

会場：富山県民会館／オンライン参加可能

参加者：計87名（中学生20名、高校生26名、保護者24名、
不明17名※オンライン参加により捕捉不可）

セミナー内容

- ◆ **薬学部への進学**（(株)駿台教育研究所）
大学別の薬学部入試情報や薬学部進学に役立つ情報について
- ◆ **富山大学における薬学教育**（富山大学薬学部）
「くすりの富山」の成り立ちから、富山大学薬学部での教育・研究の流れや、目指すべき人材像等について
- ◆ **地域医療への貢献**
 - ・ **病院薬剤師の立場から**【富山県病院薬剤師会】
高齢化・人口減少の未来における病院薬剤師の役割や、薬学生のリアルな質問Q&Aについて
 - ・ **薬局薬剤師の立場から**【富山県薬剤師会】
かかりつけ薬剤師や学校薬剤師等、身近な薬剤師の業務について
- ◆ **富山県の医薬品産業**【富山県薬業連合会】
医薬品産業における薬剤師の活躍の場について
（医薬品製造に係る品質保証や法令順守体制への貢献など）



<「富山大学における薬学教育」講演>

参加者の声

- ✓ 薬をつくったり、管理するだけの仕事だと思っていたが、いろいろな活躍の場があり、行政や教育にも関わっていて、ますます興味がわいた。
（中学1年生）
- ✓ 子供と母親が、将来を思い漠然と「薬剤師」という資格職に挑戦しようかと考えている中、他にも選択肢はあると思うが、セミナーを聴いて、本気で薬剤師を目指し、地元の人役に立ってほしいと思った。
（高校1年生保護者）

現在の取組み③（公的病院薬学生短期インターンシップ）

- 全国の薬学生4・5年生を対象に、富山県の病院薬剤師キャリアへの興味と理解を深めるとともに、将来の県内公的病院薬剤師の確保を目的として実施（R5新規事業）

3Days インターンシップ
分かる! 病院薬剤師 TOYAMA
Hop! Step! Jump!
 旅費のサポートあり

対象者
 6年制薬学部4・5年生

申込締切 6/19まで
 前半日程 [7/18~8/4] 6/19まで
 後半日程 [8/7~9/1] 7/10まで

旅費サポートの内容... 3日間すべての日程を完了した学生には、旅費のサポートがあります。

大学の所在地	石川県	新潟県 岐阜県・長野県	近畿地方 その他中部地方	関東地方	その他の地域
支給額	5,000円	15,000円	20,000円	25,000円	30,000円

お問い合わせ先... 富山県厚生部薬事指導課企画係
 電話 076-444-3233 | ayaku.jshido@pref.toyama.lg.jp

	参加者	
	県内大学生	県外大学生
R5	6名	16名

主な内容

- ◆ 県内の機能の異なる3病院で、3日間かけて病院薬剤師の業務を体験
- ◆ 県外からの参加者には旅費をサポートし、富山県への就職につなげる

大学所在地	石川県	新潟県 岐阜県・長野県	近畿地方 その他中部地方	関東地方	その他
支給額	5,000円	15,000円	20,000円	25,000円	30,000円

協力病院一覧

【東部】

あさひ総合病院、黒部市民病院、富山労災病院、かみいち総合病院、県リハビリテーション病院・こども支援センター、済生会富山病院、県立中央病院、富山赤十字病院、富山市民病院、富山大学附属病院、射水市民病院

【西部】

JCHO高岡ふしき病院、高岡市民病院、厚生連高岡病院、済生会高岡病院、市立砺波総合病院、南砺市民病院、金沢医科大学氷見市民病院、北陸中央病院、公立南砺中央病院

公的病院薬学生短期インターンシップ（R⑤実施状況）

開催概要

日程：令和5年7月19日（水）～8月30日（水）の間
参加者：計22名（4年生14、5年生7、その他1）

インターンシップ体験内容

“高度急性期、急性期や回復期など、医療機能の異なる3つの病院で、3日間かけて、それぞれの役割について体験”

◆ 3日間の体験例

- 1日目 かみいち総合病院（急性期・回復期）
- 2日目 射水市民病院（急性期・回復期）
- 3日目 富山大学附属病院（高度急性期）

⇒各病院毎の薬剤師の1日の業務紹介や、特徴・機能の説明に加え、参加者の興味（地域連携・多職種連携など）を聞きながら体験を実施



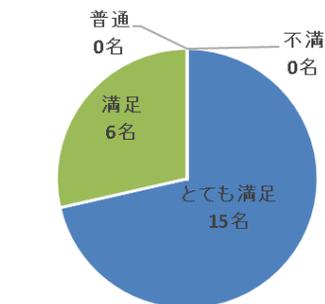
＜調剤体験＞

参加者の声

- ✓ 3つの病院での薬剤師業務や施設の違いについて、詳しく比べることができた。各病院で3日間の体験が被らないように調整していただけたため、幅広く病院の仕事を見ることができた。
- ✓ 病院で働く雰囲気や、実際に働いている方たちの声を聞くことができ、とても参考になった。
- ✓ 体験する病院は選べなかったが、今回のインターンシップがないと自分の進路の視野には入ってこなかった地域の病院を知ることができてよかった。

参加者アンケート（21名回答）

インターンシップ全体の満足度



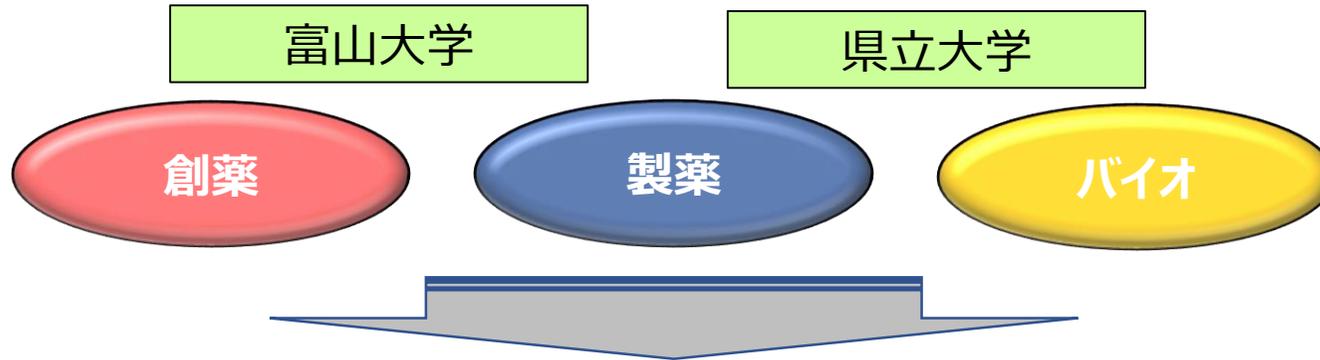
＜その他＞

- ◆ 後輩に参加を勧めたいか
： 勧めたい21名
- ◆ 次年度の参加希望
： 参加したい12名
参加したくない1名
※4年生13名のみ調査

現在の取り組み④（ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース）

（「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムにおける人材育成事業として開催）

富山大学、県立大学のこれまでのサマースクールでの実績や大学等のリソースを活用し、学生を対象として必要な人材育成に取り組む



【特徴】・全国から広く募集（全国の薬学部・理工系学生）し、医薬品産業を支える人材の育成
・「くすりの富山」ならではの医薬品に関する講義、医薬品の品質管理・品質保証等の講義を充実

ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース

【対象者】 富大・県大の学部生・院生、県外の学生等
全国の薬学・理工系学生から108名の参加申込あり
(県外81名、県内27名)

【日 程】2023年9月4日～10月31日

【コース設定】

・学生向け：未来の医薬品産業人材養成（富大と県大の学生、大学院生等）、医薬品産業への就職

【運 営】コンソーシアム（大学、薬連、薬総研、県）で実施

★これまで開催実績のある富大、県大のサマースクールのリソースを活用

【薬学概論】

【法規制（レギュラトリーサイエンス、品質保証等）】

【製薬】・【創薬】 など

- ライブ講義
- オンデマンド講義
- 製薬企業体験会

現在の取り組み⑤（富山大学の高大/中大連携企画）

（「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムにおける人材育成事業として開催）

- 富山大学では、中高生向けの薬剤師職に関わるPR事業として、富山大学の齋藤学長や杉谷キャンパスの教員・学生と語るイベントを企画・開催。

県内高校
1～2年生
対象

第4回かけがえのないいのちを守る座談会

日程：令和5年11月12日（日）13:00～16:30
場所：富山大学杉谷キャンパス 講義・実習棟（大講義室）
内容：齋藤学長、酒井副学長、医・薬学部、和漢医薬学総合研究所の教員・学生と、仕事のやりがいや、学生生活について語り合う場

第1部「学長と語り合おう！」

第2部「パネルディスカッション」

終了後 学部・学科別の個別相談会

県内中学
2年生・
保護者対象

第3回親子で将来を見つめよう！

日程：令和5年12月10日（日）13:00～16:00
場所：富山大学杉谷キャンパス 講義・実習棟（大講義室）
内容：齋藤学長、酒井副学長、医・薬学部、和漢医薬学総合研究所の教員・学生との懇談の中で、将来の進路について親子で考える場

第1部「学長と語り合おう！」

第2部「医療とくすり、その他なんでも聞いてみよう」タイム

※参加申込：11月1日（水）～11月19日（日）

申込
受付中

令和5年度 富山大学杉谷キャンパス高大連携企画

県内高校生40名ご招待！

第4回 かけがえのないいのちを守る座談会

富山大学 医療系キャンパスで
医学部・薬学部の先生、大学生と
直球！会話のキャッチボール！

2023.
11.12（日）
13:00～16:30

場所
富山大学 杉谷キャンパス
講義・実習棟（大講義室）

医師 薬剤師・研究者 看護師・保健師・助産師

令和5年度 富山大学杉谷キャンパス中大連携企画

県内中学2年生対象！

第3回 富山大学医療系キャンパス親子で将来を見つめよう！

みんなの未来は∞無限大！

2023.
12.10（日）
13:00～16:00

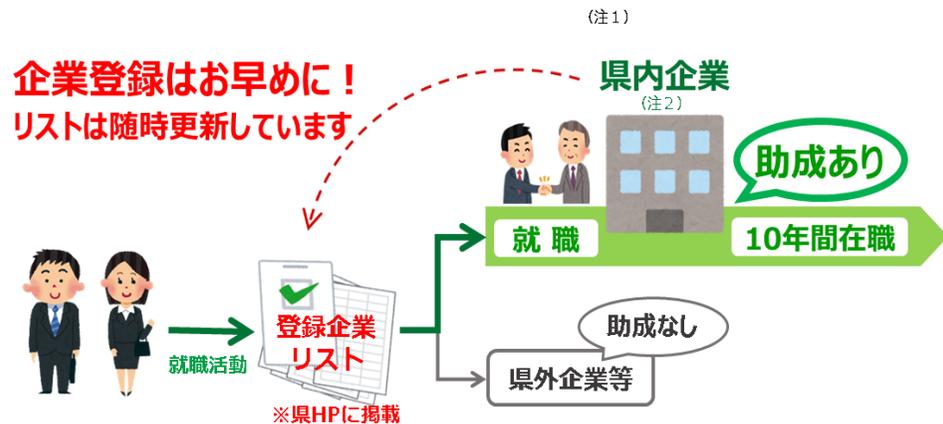
場所
富山大学 杉谷キャンパス
講義・実習棟（大講義室）

医師になりたい！ 薬剤師・研究者になりたい！ 看護師・保健師・助産師になりたい！

富山県奨学金返還助成制度の拡充 (県労働政策課)

- 本県産業の人材確保を促進するため、理工系・6年制薬学部生が県内の登録企業に就職した場合に奨学金の返還を企業と県が助成する制度（10年間の勤務で助成額の全額を支給）

制度概要



注1 奨学金返還の助成額は、企業と県が1/2ずつ負担します。
注2 富山県内の中小企業・中堅企業（あらかじめ本制度に応募し、登録いただく必要があります。）

NEW

R7.4採用分から制度拡充！

	これまで	拡充後
対象の学生	県外大学の理工系・6年制薬学部生	県内外のすべての理工系・6年制薬学部生
対象の奨学金	富山県奨学資金 日本学生支援機構 第一種奨学金	日本学生支援機構 第二種奨学金を対象に追加

※本制度の詳細は県ホームページをご確認ください。

富山県 奨学金返還助成制度

検索

助成額の目安

日本学生支援機構無利子（第一種）奨学金

	助成対象期間	助成額	企業の負担額	備考
理工系学部生	2年間分	21～154万円	11～77万円	
理工系大学院生	修士課程・2年間分	120～212万円	60～106万円	
6年制薬学部生	2年間分（5～6年生分）	21～154万円	11～77万円	薬学部生を採用する場合、いずれかを選択
	6年間分	144～461万円	72～231万円	

日本学生支援機構有利子（第二種）奨学金

	助成対象期間	助成額	企業の負担額	備考
理工系学部生	2年間分	48～288万円	24～144万円	
理工系大学院生	修士課程・2年間分	120～360万円	60～180万円	
6年制薬学部生	2年間分（5～6年生分）	48～336万円	24～168万円	薬学部生を採用する場合、いずれかを選択
	6年間分	144～1008万円	72～504万円	

富山県奨学資金

	助成対象期間	助成額	企業の負担額	備考
理工系学部生	2年間分	108～123万円	54～62万円	
理工系大学院生	修士課程・2年間分	212万円	106万円	
6年制薬学部生	2年間分（5～6年生分）	108～123万円	54～62万円	薬学部生を採用する場合、いずれかを選択
	6年間分	324～368万円	162～184円	

※各々の奨学金は、併用貸与が認められています。

「地域枠奨学金制度」と「富山県奨学金返還助成制度」の違い（参考）

	地域薬剤師修学資金貸与制度 (富山大学薬学部「地域枠」奨学金)	富山県奨学金返還助成制度 (R7.4就職～)
方法	貸与・返還免除 (県が貸与し、条件を満たせば返還免除)	返還助成 (在学中に貸与された奨学金の返還を助成)
対象者	<u>富山大学薬学部「地域枠」</u> <u>入学生 (10名)</u>	<u>理工系・6年制薬学部生</u> ※大学、学生の出身地によらず
対象となる 勤務先	<u>県内の公的病院、製薬企業、行政</u> ※9年間勤務で返還免除	<u>県内の中小企業、中堅企業</u> (売上高500億円以下) ※10年間の勤務で助成額の全額を支給
対象となる 奨学金	入学料・授業料、修学費5万円/月 6年計約709万円	日本学生支援機構などによる 奨学金の貸与額 (※左記「地域枠」奨学金は対象外)

3. 今後の課題

今後に向けての課題

論点 1（中高生へのアプローチ）

富山県から薬学部に進学する学生が少ない現状を踏まえ、**薬学部・薬剤師を志望する中高生を増やすために、現状の取組みは十分か**。不足している部分や、取組みを強化・改善できることはないか。

論点 2（地域枠生・薬学生へのアプローチ）

来年4月から地域枠の第1期生が実際に入学することになる。その地域枠生や、他の県内・県外の**薬学生の富山への定着を図るため、県や県内の関係者にはどのような取組みができるか**。

論点 3（その他のアプローチ）

薬剤師の確保状況が急に改善することは困難な状況で、対人業務の充実など、薬剤師の職能への期待は拡大している。**薬剤師の資質向上や業務の効率化などを通じて、何か対応できることはないか**。

 本日の議論を令和6年度の薬剤師確保対策、第8次医療計画に反映していきたい